

国際地域イノベーター人材養成プログラム 科目概要

①国際地域イノベーション論

北海道教育大学函館校
准教授 金 鉸 善

国際地域イノベーター人材養成プログラム(以下、国プロ)は、国際的な視野で地域と協働することによって、地域にイノベーションを起こせる人材を養成するプログラムである。この国プロは「基盤科目」「共通科目」「専攻科目」の3つの科目群に分かれており、専攻やグループを超えた学びを履修者に提供することを目的とする。とりわけ、「国際地域イノベーション論I」と「国際地域イノベーション論II」は上記の「基盤科目」にあたり、履修者は国プロを進めるうえで必要とされる基盤知識を最初に学ぶことで国プロの全体的な流れを理解し、これからの取り組みにおいて必要とされる基盤知識を身につけることができる。

まず「国際地域イノベーション論I」(第1クォーター)では、「社会」「法・政策」「教育」「経済」「福祉」「環境」といった幅広い分野の教員が、それぞれの領域と「地域との関係」「国際との関係」について講義を行った。

続く「国際地域イノベーション論II」(第2クォーター)では、①「国際地域イノベーション論I」で取り上げた「社会」「法・政策」「教育」「経済」「福祉」「環境」の6分野の基盤知識をもとに、今後どの専攻科目に進むのかについて履修者自らが計画を立てることができるように、そして②専攻科目に進めるうえで必要とされる基盤知識を学習し、地域にイノベーションを起こせる人材とは何かについて再確認することができるように専攻科目の教員を中心に講義を行った。

この「国際地域イノベーション論I」と「国際地域イノベーション論II」を通して、履修者は、さまざまな地域課題を多角的に捉え解決できる能力を専攻・グループの垣根を超えて学ぶことができたといえよう。そして、さまざまな分野から「地域と国際」についてアプローチすることによって、「地域と国際の関係」を理解し、これから地域に出ていくための基礎知識を身につけることができたといえる。

